

## 映画「劔岳 点の記」を応援する会を開催（富山）

5月10日、劔岳の地元富山県の県民有志でつくる「映画『劔岳 点の記』を応援する会」が、木村大作監督を囲む集いを主催し、公開を待ち望むファン約250人が、木村監督のトークやメイキング映像を楽しみました。

木村監督は、過酷な山岳ロケに挑んだ心境や苦労話、また苦行のロケを耐え抜いた俳優さんやスタッフへの感謝の気持ちやエピソードを、軽妙かつ情熱的に語り、会場は笑いと感動で大いに盛り上がりました。

富山をスタート地点に、100日かけて回った全国試写会では、「どの県へ行っても映画の第一の反響はこの美しい大自然への驚きだった。富山の人は他に類なき自然の宝庫を持っていることに自信と誇りを持って、映画と共に、この財産をもっと全国に発信してほしい」と熱く語り、会場もまた大きな賛同の拍手で沸きました。

久しぶりで古巣に帰り、リラックスし過ぎた監督は、「今回、富山で私の講演を2回以上聞いた人、手

を挙げて！」ときまされた。私を含む5、6人の手があちこちで挙がると、「俺には……追っかけがいるんだよね。残念ながらちょっとトシをとっていますが」と言ってくれるではありませんか。

あらっ、監督の年相応の追っかけなのに！ 確かに今まで5回行った監督の講演会、どれも監督のクラス会かと思いましたが……。

というわけですますます若返りますますます元気な木村監督でした。富山の映画館での前売り券も今までに例のない売れ行きとか。また県内の高校では、この素晴らしい映画を若者にこそ見せたいと、全校鑑賞計画も進められています。今後は若い高校生の追っかけも夢ではありませんよ、監督。

（牧野美知子）

